長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

令和8年11月13日 現在

長野県林務部　森林づくり推進課

●目撃情報と皆さまへのお願い

・この1週間の県全体の人の生活圏における目撃件数は4件と少ない状況でした。

・実った柿や栗に餌付くことのないよう確実に収穫いただくほか、利用予定のない果樹は伐採処分するなど、クマを集落に誘引しないための取り組みや、農作物や収穫後の廃棄野菜、家庭の生ゴミを適切に管理・処分いただき、出没したクマに人の生活圏を餌場として学習させないよう、引き続きご協力をお願いします。

・クマの生息地である森林に登山やキノコ採りなどで訪れる際は、鈴やラジオなど音の出るものを携帯するなど基本的な対策を行い、クマとの不意の遭遇に十分ご注意ください。

●人の生活圏でのツキノワグマの目撃件数の推移（速報値）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-3月計	人身被害件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	－	－	－	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	－	－	－	1,591	14(14)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	－	－	－	1,575	31(32)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	1	0	2	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	3	3	8	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	5	3	2	1,406	11(12)
R06	20	107	347	273	348	203	67	49	8	4	2	2	1,430	12(13)
R07	25	59	226	200	183	176	219	174	42	9	4	7	1,324	11(16)
R08	30	119	354	212	89	69	38	8					919	4(4)

※人身被害は林内での発生も含む。

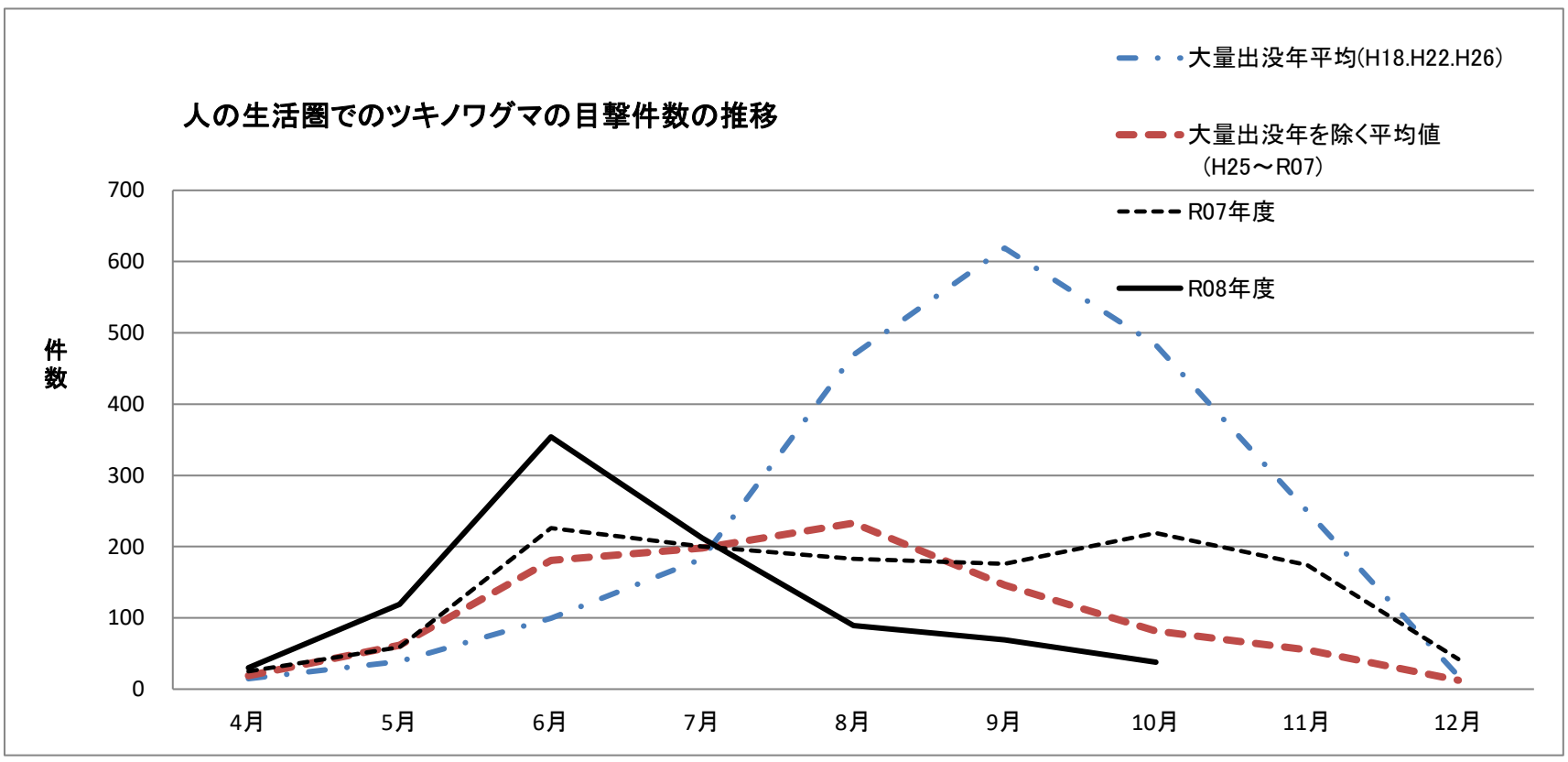
網掛けのセルは大量出没年。

●地域別目撃件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-3月計	人身被害件(人)
佐久地域	―	2	1	1	1	4	1						10	1(1)
上田地域	1	2	9	6	2	―	―						20	－
諏訪地域	1	3	2	―	―	―	―						6	－
上伊那地域	1	4	12	6	6	9	1	2					41	1(1)
南信州地域	1	5	17	15	3	3	7	3					54	－
木曽地域	3	21	108	44	26	25	4						231	－
松本地域	1	26	53	26	19	13	6						144	－
北アルプス地域	7	27	107	70	11	2	9	1					234	1(1)
長野地域	11	16	28	30	13	4	8	2					112	1(1)
北信地域	4	13	17	14	8	9	2						67	－
計	30	119	354	212	89	69	38	8					919	4(4)

〔参考〕大量出没年、大量出没年以外の平均目撃件数との比較

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
大量出没年平均 (H18.H22.H26)	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出没年を除く平均値 (H25～R07)	19	62	181	198	233	146	82	55	13	989	8.7(9.6)
R07年度	25	59	226	200	183	176	219	174	42	1,304	11(16)
R08年度	30	119	354	212	89	69	38	8		919	4(4)



・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和7年は6月に226件と急増し、その後も夏から秋にかけて高い水準で推移した。10月には再び増加が見られ、年間を通じて人の日常生活圏での目撃が多い状況が続いた。
・大量出没年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。